

長岡造形大学校友会 会報誌 第8号  
2007年8月発行

**NID Alumni Association**  
**VOL.8 2007 August**

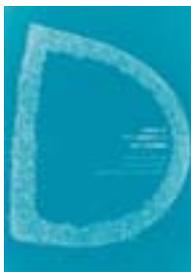


# NIDの新しい顔！

今回のテーマは「新しい顔！」

近年、大学に赴任となった教員の方々の紹介や大学周辺での出来事を紹介します。

みなさんの卒業後も長岡造形大学は日々生まれ変わっています。



1



2



3



4



5



## ■上野 裕治 (教授)

### 研究専門領域 / 研究テーマ

ランドスケープデザイン、景観・環境保全計画 / 山古志地域を中心とした山間地農業景観の価値と保全対策ボランティア活動を取り入れた景観・環境保全子供達をいかに外で遊ばせるかという「外育」(そといく)の実現

昨年4月から常勤のランドスケープ担当教授として就任しました。建築・環境デザイン学科の取り扱う領域は非常に多岐にわたり、学生達もコース選択にあたっているかと悩んでいるようですが、ランドスケープデザイン専攻の学生はしだいに増えつつあるようです。それは結果的に中越大地震を契機として、一気に見慣れた風景が崩れ去ったこと、またその復旧過程において景観や環境といったことがいかに大切であるかということとを体感したことと無縁ではないように思います。

美しいふるさとを守り育てて発展させていくために、ランドスケープデザインは大きな力となり得ますが、何よりもそこに住んでいる人達の理解と熱意がないことには実現できません。学生達だけではなく、校友会の皆様方のご協力を切にお願いするしだいであります。

写真5 上野先生写真(山古志地域の棚田冬景色)



## ■長谷川 博紀 (教授)

### 研究専門領域 / 研究テーマ

グラフィックデザイン / 広告・イラストレーション

はじめまして、今年度、長岡造形大学の視覚デザイン学科に着任した長谷川博紀です。

大学を卒業してからライオン株式会社に就職し広告制作部でTVCMや新聞・雑誌広告等のグラフィックデザインを担当しました。退社後、フリーランスのグラフィックデザイナー及びイラストレーターとして独立。着任前は玉川大学と横浜美術短期大学で非常勤講師として視覚デザインとイラストレーションを教えていました。

ここ2ヶ月ほど授業を通して学生の皆さんと有意義な時間をすごさせていただいています。これからは様々な機会を通して、卒業した後も社会で活躍できる人材を育てていきたいと思っています。

また、卒業生の皆様との交流を深め、語らいの場を持てれば幸いです。今後とも、おつきあいの程よろしくご厚意申し上げます。



■松本 明彦（教授）

研究専門領域 / 研究テーマ  
写真、デジタルフォト / デジタルフォトのワーク  
ロー

現在私は大学で教鞭を取る傍ら、フォトグラファーとして広告、雑誌の撮影を、写真家として美術館やギャラリーで作品発表をしています。しかし実は私は27歳までは、自動車メーカーのカーデザイナーをしていました。そしてその後写真の勉強をし、30歳で写真家としてスタートしました。

いくつになっても、いつでも、遅い時はありません。目指そうと思った時がスタートです。したいこと、なりたい自分があれば、その夢を追いつける、持ち続けることが才能なのです。そして自分を信じてやり続けられれば、いつか夢はかないます。

造形大の4年間で、そして卒業後でも思い立ったら、自分にしかできないこと、自分だけができることを見つけて、実現させて下さい。



■天野 誠（准教授）

研究専門領域 / 研究テーマ  
グラフィックデザイン / エディトリアルデザイン

私が専門とするエディトリアルデザインとは、主に書籍や雑誌などの出版物のデザインです。その中でも装幀という仕事を中心に活動しています。具体的にどういう仕事かと簡単に言うと、本そのものを全部デザインするわけです。ジャケット（一般的にはカバーと言いますが）や帯などの外側の要素は当然のこと、中身まで文字のあるところはすべてデザインします。実はここが一番大切なことなのです。

装幀とは文章をビジュアル化し、物として存在させる行為なので、当然本の内容を十分理解しなければいけません。だから私はまず中身のデザインから始め、徐々に外側に向かってイメージを固めていくのです。

こうしてやっと一冊の本が出来上がるわけですが、いつも思うことは、最初からすでに存在していたかのような、その本にふさわしいたずまいをどう作り上げるか、そこが装幀のあるいは装幀家の尽きることのない課題だと思います。本が本として存在することの意味を、これからも問い続けていきたいと思っています。

写真 3.4 天野先生作品



■長谷川 克義（准教授）

研究専門領域 / 研究テーマ  
金属工芸（鑄金） / 鑄金技法を用いた器物制作

長岡造形大学に赴任してはや3ヶ月。専攻専門分野の授業だけではなく、基礎造形に関する授業や大学業務の多様さに未だ慣れない毎日を過ごしています。そのような日々の中で新しい発見をしつつ、学生にも少しずつですが顔を覚えてもらい挨拶を交わせるようになってきました。

専門領域についてですが、工芸の世界では技術が伴わないと折角のアイデアやデザインを「もの」として創造することができません。また、その形を創り出す技法もたくさんあります。そして、様々な素材を扱い、知ることによって表現の幅をより広げられるのです。このような意識を踏まえて、これまでの鑄金ユニットの指導方針を継承しつつ、自分の仕事（制作）を現場で行い学生への指導において、還元および共有することを心掛けて臨もうと思っています。

校友会も10回生が卒業し10年が過ぎたことと思います。後輩たちの、大学というカテゴリーの中でより育っていけるようにこれからも変わらない御支援をよろしく願っていますと共に、大学へも足を運んで欲しいと思います。



■吉川 賢一郎（助教）

研究専門領域 / 研究テーマ  
グラフィックデザイン / コミュニケーションデザインに於ける機能美と形態美の探求

私は村上市出身です。昨年14年振りに新潟県人になりました。15年前浪人をしていた私は、母に勧められ造形大を受験しましたが残念ながら結果は不合格だったことを懐かしく思います。長岡での暮らしにもようやく慣れていなかで、最近心地よく感じることが二つあります。一つ目は、自然の匂いです。草刈りのあとの匂い、海の気配を感じる潮風の匂い、雪の降りそうな天気匂い。日々の暮らしのなかで感じるどこか懐かしい匂いは、幼い頃からの記憶を鮮明に思い出させ、その時どんなことがあったのか昨日のこのように記憶を辿ることがよくあります。二つ目は、春夏秋冬のあいだにある季節感です。春から夏に変わる梅雨入り前の最も爽やかな頃、夏から秋にかけて稲穂が光り輝く頃、雷が鳴り響き大粒の霰が降る秋から冬の頃など、季節の変わり目がこんなにも趣があることをしばらく忘れていました。そのふたつのことは、自然を身近に感じて暮らせることのすばらしさを私に気づかせてくれました。そして、デザインをする姿勢やものの考え方にも影響している気がしています。デザインの勉強も大事ですが、学生達には自然だけでなく様々な変化に気づくことの大切さも伝えていけたらと思います。

写真 1.2 吉川先生作品



## 造形大の文庫

すでにご存知の方も多いかと思いますが2004年10月、大学に宮澤文庫(浄土堂)が開館しました。この施設は名誉教授である宮澤智士先生の私費によって建設され、館内に収蔵されている書籍や資料の多くは宮澤先生の寄付となっています。「伝統的木造建築の肌触りを感じる空間」をコンセプトに設計も宮澤先生ご自身が行い、木造平屋建ての本館には様々な種類の木材が使用され、内装などの加工にも昔からの伝統的ないくつもの工法が用いられています。

文庫には建築や町並みの貴重な調査資料などが収蔵され、文化財建築物保存研究クラブの活動の場としても利用されています。



## 復興、力強く。

今年2月14日、新潟県中越地震で被災した長岡市旧山古志村に8期生の松村智朗さんの卒業制作である鍛金作品『YAMAKOSHI』が寄贈されました。

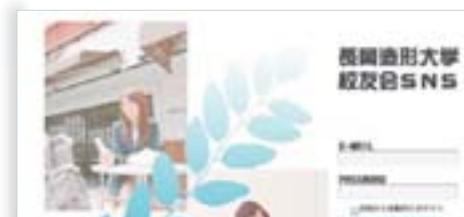
寄贈される以前は学内で展示していましたのでご覧になられた方もいるのではないのでしょうか。高さが180センチほどもあり、まさに2頭の闘牛がぶつかり合う瞬間をとらえたこの作品は、見る人を圧倒させるだけでなく力強さ、エネルギーを与えてくれる作品です。

松村さんは震災以前から闘牛をモチーフとした作品を作るため山古志へ通い、実際の闘牛大会にも勢子として参加しスケッチ、研究を重ねたそうです。松村さん自身もいずれば山古志に置いて欲しいとの希望もあり、山古志に寄贈が決まりました。現在は長岡市山古志体育館のエントランスホールに展示してあります。

# 校友会のホームページ できました！



長岡造形大学校友会のホームページが完成しました。校友会からの情報だけでなく、SNSによる卒業生同士の情報交換もできます。他にも過去の校友会誌の閲覧や住所登録の変更も行う事ができます。今後も各種コンテンツを充実させていく予定です。



## 校友会新任役員紹介



内山めぐみ（助成金部会、第10期学年幹事）

今年から校友会役員の一員になりました、第10期環境デザイン学科卒業生の内山めぐみです。長岡市内で販売接客の仕事をしております。今回、校友会の活動では、助成金部会の仕事にあたる事となりました。私自身も校友会の助成で展覧会をさせて頂いた経験があります。これからの皆さんの活動の支援をしっかりサポートできるよう、任務を果たして行きたいと思っております。宜しくお願い致します。



渡辺京子（助成金部会、10期生）

平成19年度校友会新任役員の渡辺京子と申します。在学中は、テキスタイルデザインの織りを専攻し、現在は大学で工房職員をしています。校友会では、助成金部会に配属されることになりました。役員としての自覚と責任を持ち、部会の任務を遂行できるよう努めてまいりたいと思っております。以上かたい挨拶となりましたが、おてやわらかにお願いします。

## 大学からのお知らせ

### ■卒業・修了研究作品アーカイブについて

一昨年度から、卒業・修了研究作品を大学ホームページにアーカイブとしてストックしています。「大学ホームページ」→「卒業生の方へ」→「卒業・修了研究作品アーカイブ」→「2005」及び「2006」から入ることができます。アクセスできるのは長岡造形大学の教職員、在学生、卒業・修了生で、閲覧にはパスワード(9402088)が必要です。

今後、作品を追加して、アーカイブとしての役割を果たせるように充実させていく予定です。

### ■卒業・修了生への資料貸出について

長岡造形大学附属図書館では、卒業・修了生の皆さんへの資料貸出を行っています。居住地の県内外を問わず、本学卒業・修了生であればご利用いただけます。

利用についての詳細は、「大学ホームページ」→「大学施設」→「図書館」→「利用案内」をご覧ください。

### ■卒業・修了後の各種証明書の発行について

卒業・修了後、各種証明書が必要となった場合は、大学事務局にて直接申請を行うほか、郵便での申請も受付けています。

証明書発行についての詳細は、「大学ホームページ」→「卒業生の方へ」→「各種証明書の発行について」をご覧ください。

長岡造形大学ホームページ <http://www.nagaoka-id.ac.jp/>

### ■皆さんの活躍情報をお寄せください

大学事務局入試広報課では、本学が発行する印刷物やホームページで在学生・卒業生の皆さんの活躍を紹介しています。個展の開催やコンペでの受賞など、卒業後の皆さんの活動をメールやお電話で気軽にお寄せください。

<連絡先>

入試広報課

TEL:0258-21-3331 FAX:0258-21-3343

E-MAIL:koho@nagaoka-id.ac.jp

ご協力をお願いします。

## 校友会からのお知らせ

### ■平成18年度学生生活動助成金 採用結果報告

採用者(個人/団体名称) 活動テーマ

- 1 テキスタイルデザインコース織コース  
学外展示 テーマ「花火」
- 2 工芸デザインコース  
卒業制作学外展示
- 3 間@(まっと)(環境デザイン学科有志)  
卒業制作学外展示
- 4 midorism(長岡造形大学大学院有志)  
建築展 テーマ「新たな建築の融合モデルの探求とその展示」
- 5 産業デザイン学科視覚デザインコース有志  
卒業制作学外展示
- 6 TETSUSON2007(長岡造形大学 学生有志)  
卒業制作学外展示 テーマ「Talk」

### ■平成19年度 新役員

内山めぐみ

渡辺京子

### ■住所変更等の際はお知らせください

転居・転勤等で、現在お届けいただいている登録内容に変更のある場合は、校友会にご一報ください。校友会では、広報誌「NIDAA」をはじめ、様々なご案内を郵送にてお届けしています。一人でも多くの方に情報がいきわたるようご協力をお願いします。

<連絡先>

長岡造形大学校友会(大学事務局学生支援課)

TEL:0258-21-3341 FAX:0258-21-3312

E-MAIL:gakusei@nagaoka-id.ac.jp

みなさんからお預かりした校友会費は、このように使わせて頂いています。

■平成 18 年度長岡造形大学校友会決算

〔収入〕		
項目	予算	決算
終身会費	8,800,000	8,820,000
前年度繰越	887,120	887,120
預金利息	0	2,589
校友大会参加費	0	25,000
助成金返戻	0	528,937
合計	9,687,120	10,263,646

〔支出〕

項目	予算	決算
事務費	150,000	109,557
会議費	50,000	32,680
旅費	300,000	213,745
助成金	2,050,000	1,653,990
広報費	1,750,000	867,832
校友大会	200,000	110,403
卒業・修了記念品	600,000	514,815
通信運搬費	500,000	383,585
積立金	3,000,000	6,000,000
予備費	1,087,120	1,974
合計	9,687,120	9,888,581
収入－支出	0	375,065

■平成 18 年度長岡造形大学校友会特別会計決算

〔収入〕		
項目	予算	決算
前年度繰越	72,083,352	72,083,352
一般会計から繰入れ	3,000,000	6,000,000
預金利息	0	18,508
合計	75,083,352	78,101,860
〔支出〕		
項目	予算	決算
次年度繰越	75,083,352	78,101,860
合計	75,083,352	78,101,860

■平成 19 年度長岡造形大学校友会予算

〔収入〕	
項目	予算
終身会費	8,910,000
前年度繰越	375,065
預金利息	0
合計	9,285,065

〔支出〕

項目	予算
事務費	150,000
会議費	50,000
旅費	350,000
助成金	2,020,000
広報費	1,250,000
校友大会	200,000
卒業・修了記念品	600,000
通信運搬費	550,000
積立金	3,000,000
予備費	1,115,065
合計	9,285,065
収入－支出	0

■平成 19 年度長岡造形大学校友会特別会計予算

〔収入〕	
項目	予算
前年度繰越	78,101,860
一般会計から繰入れ	3,000,000
預金利息	0
合計	81,101,860
〔支出〕	
項目	予算
次年度繰越	81,101,860
合計	81,101,860